

# 2022年3月期 決算説明資料

2022年5月19日

新明和工業株式会社

**ShinMaywa**  
VISION WITH INSIGHT

# 連結決算サマリー

- ※ 当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。
- ※ 当資料において「1Q」は3カ月累計期間、「2Q」は6カ月累計期間、「3Q」は9カ月累計期間、「通期」は12カ月累計期間を示しています。

(単位：百万円)

	2021.3期 実績	2022.3期		増減 (増減率)	
		2月公表	実績	前期比	2月公表比
売上高	209,226	215,000	216,823	+ 7,597 (+3.6%)	+ 1,823 (+0.8%)
営業利益	10,479	9,000	10,569	+ 90 (+0.9%)	+ 1,569 (+17.4%)
経常利益	11,182	9,400	11,821	+ 639 (+5.7%)	+ 2,421 (+25.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,487	5,500	6,907	+ 1,419 (+25.9%)	+ 1,407 (+25.6%)
海外売上高	27,108	—	31,022	+ 3,914 (+14.4%)	—
ROE	6.4%	—	7.7%	+ 1.3pt	—
ROIC*	5.1%	—	5.1%	0pt	—
為替レート (1USドル)	106.2円	—	111.9円		

## 前期比

- ✓ 産機・環境システム、パーキングシステム、特装車セグメントで増加し、全体でも増収
- ✓ 営業利益は前期より改善し、経常利益も円安に伴う為替差益の計上により増加。親会社株主に帰属する当期純利益も特別損失の減少により、増益
- ✓ 上記に伴い、ROEは増加、ROICは前期比率を維持

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値

# 2022年3月期決算 セグメント別

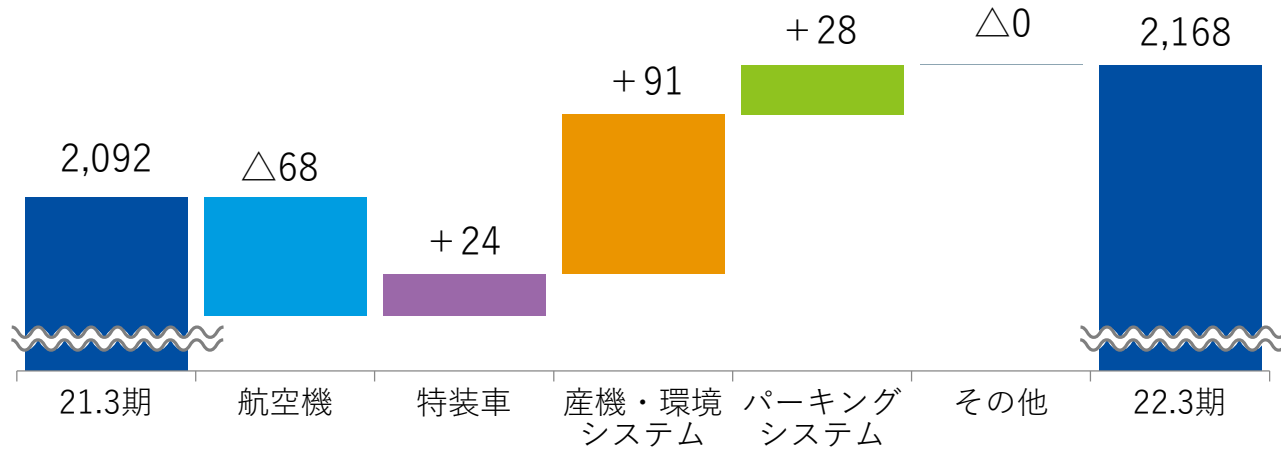
(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2021.3期	2022.3期	増減	2021.3期	2022.3期	増減
航空機	259	191	△68	△8	△8	△0
特装車	947	971	+24	67	53	△13
産機・環境システム	371	463	+91	29	48	+18
パーキングシステム	352	380	+28	32	30	△1
その他	160	160	△0	14	9	△4
調整額	—	—	—	△30	△28	+2
合計	2,092	2,168	+75	104	105	+0

# セグメント別 増減分析（前期比）

## 売上高

(単位：億円)



### 航空機

- ・ ボーイング社向け製品の減収

### 産機・環境システム

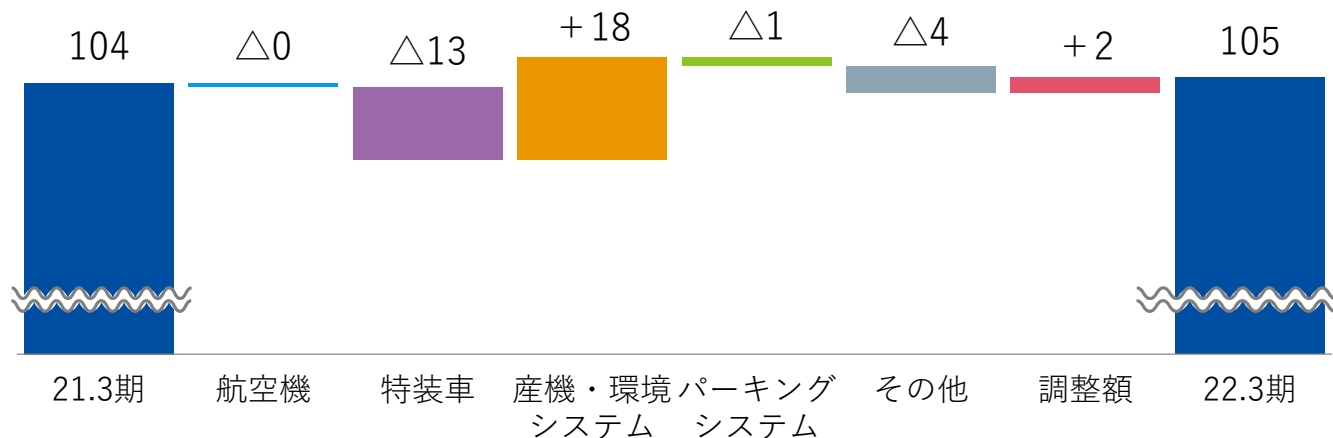
- ・ 全ての分野（流体・メカトロニクス・環境）で増収

### パーキングシステム

- ・ 機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも増収

## 営業利益

(単位：億円)



### 特装車

- ・ 鋼材価格の高騰等による減益

### 産機・環境システム

- ・ 増収による増益

(単位：百万円)

	2022.3期 (実績)	2023.3期 (予想)	増減 (増減率)
売上高	216,823	225,000	+ 8,176 (+ 3.8%)
営業利益	10,569	9,000	△1,569 (△14.9%)
経常利益	11,821	9,200	△2,621 (△22.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,907	6,000	△907 (△13.1%)

為替レート (1USドル)	111.9円	120.0円※
------------------	--------	---------

## 前期比

- ✓ 売上高は特装車を除く全てのセグメントで増加を見込み、全体でも増収となる見通し
- ✓ 利益は、鋼材価格の高止まり等による特装車セグメントの大幅減益を見込み、全体でも減益となる見通し

(参考) 中期経営計画 ([SG-2023]) 業績目標

(単位：百万円)

	2024.3期 (目標)
売上高	250,000
営業利益	15,000

※ 2023.3期 (予想) の為替レートについては、公表日以降の前提レートを表示しています。

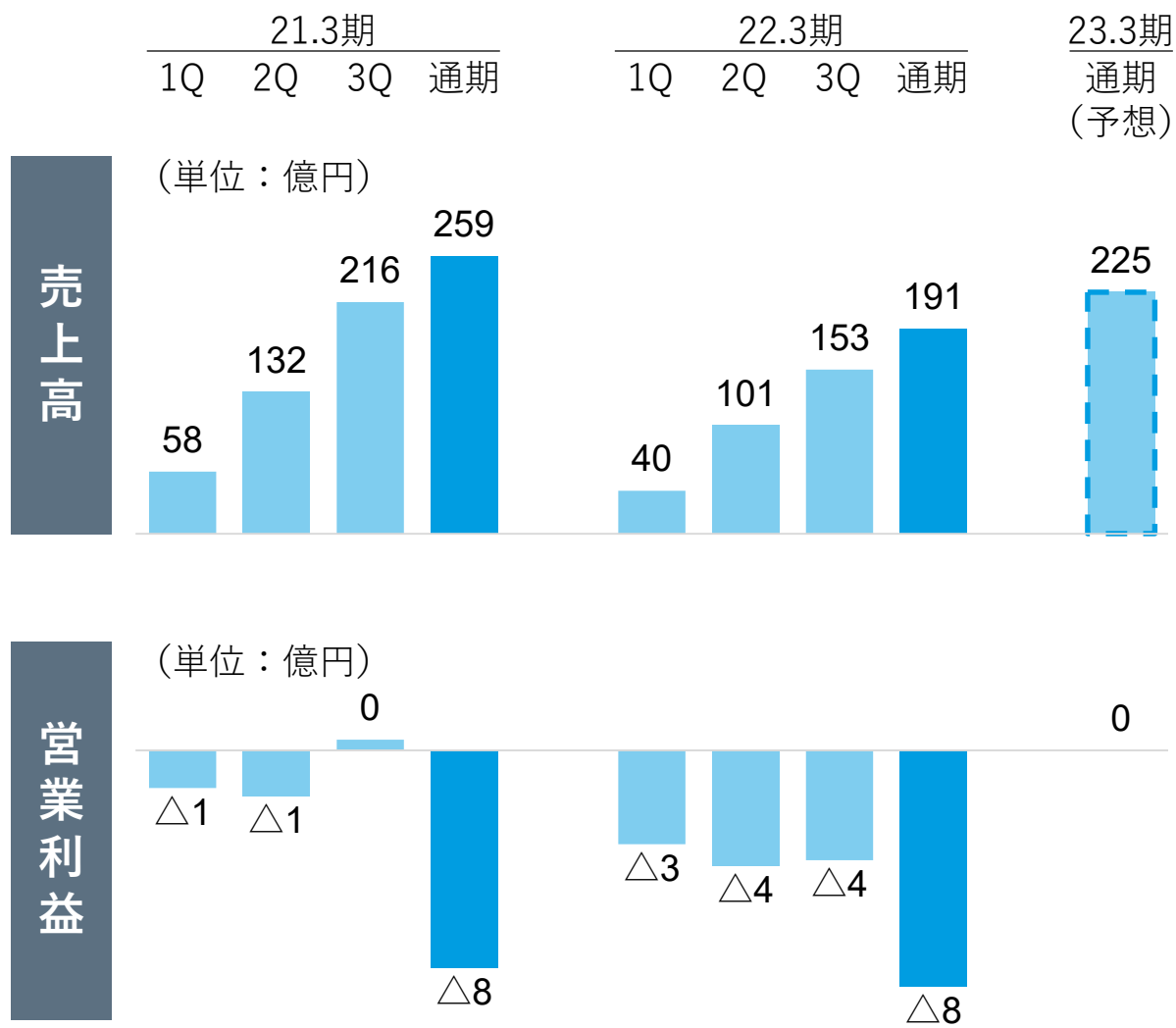
セグメント		予想	事業環境（見通し）
航空機			民需関連においては、コロナ禍による旅客需要の減少に伴い、機体の需要低迷が継続しており、中大型機市場の回復は2023年度以降となる見通し。一方防衛省向けは、US-2型救難飛行艇（9号機）の受注に伴い作業量が増加し、操業度は改善する見込み。
特装車			2021年下期に顕在化した主要部品調達遅れ等に伴う生産活動の停滞は、今期も一定期間継続する見込み。加えて鋼材価格等も上昇傾向が続き、足元の収益性は悪化している。今期から価格改定対策を実施するも、前期末時点で10カ月を超える旧価格の受注残高（セグメント全体）を保有しており、収益改善は下期以降となる見込み。
産機・環境システム	流体製品		民需関連の復調に加え、官需向けもゼロエミッション対応、ストックマネジメント対応、浸水に対する耐水化対応などの更新需要やメンテ・サービス事業が底堅く推移する見込み。海外は連結子会社のTurboMAX Co., Ltd.のターボブロワ販売がインド・欧州・中国で伸長。同製品は、国内でも新顧客開拓に寄与するなど、総じて事業環境は堅調に推移する見込み。
	メカトロニクス製品		自動車産業向けの設備が売上の大半を占める当分野は、顧客側の投資意欲回復に伴い復調傾向。特に、EV用リチウムイオン二次電池向け真空乾燥装置を製造・販売する連結子会社の韓国真空株式会社は、韓国電池メーカーのほか、近年は海外の自動車メーカーや新たに業界参入する電池メーカーにも納入するなど、市場の拡大に伴い引き合い数も増加傾向。
	環境関連事業		前期は、プラント新設工事および同施設完成時から25年間の運営委託業務を一括受託（奈良県天理市案件、受注金額：113億円）するなど、プラント案件の需要は堅調。これに付随するストック事業の増加もセグメント業績を下支え。
パーキングシステム			売上の一部を占める航空旅客搭乗橋の受注環境は、コロナ禍で引き続き厳しいものの、主力の機械式駐車設備においては、新設案件や収益の柱であるメンテナンス・改修事業が引き続き堅調に推移する見込み。

# 2023年3月期 通期業績予想 セグメント別

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2022.3期 (実績)	2023.3期 (予想)	増減	2022.3期 (実績)	2023.3期 (予想)	増減
航空機	191	225	+33	△8	0	+8
特装車	971	930	△41	53	26	△27
産機・環境システム	463	520	+56	48	49	+0
パーキングシステム	380	405	+24	30	33	+2
その他	160	170	+9	9	11	+1
調整額	—	—	—	△28	△29	△0
合計	2,168	2,250	+81	105	90	△15





## 2022.3期実績 (前期比)

### ■ 売上高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの減少  
 民需関連：「777/777X」「787」生産機数減少

### ■ 営業利益

・「777/777X」「787」生産機数は減少するも、為替が円安に推移した結果、前期並みの水準に

## 2023.3期業績予想 (前期比)

### ■ 売上高

防衛省向け：輸送機向けコンポーネントの増加を見込む  
 民需関連：「777/777X」生産機数増加を見込む

### ■ 営業利益

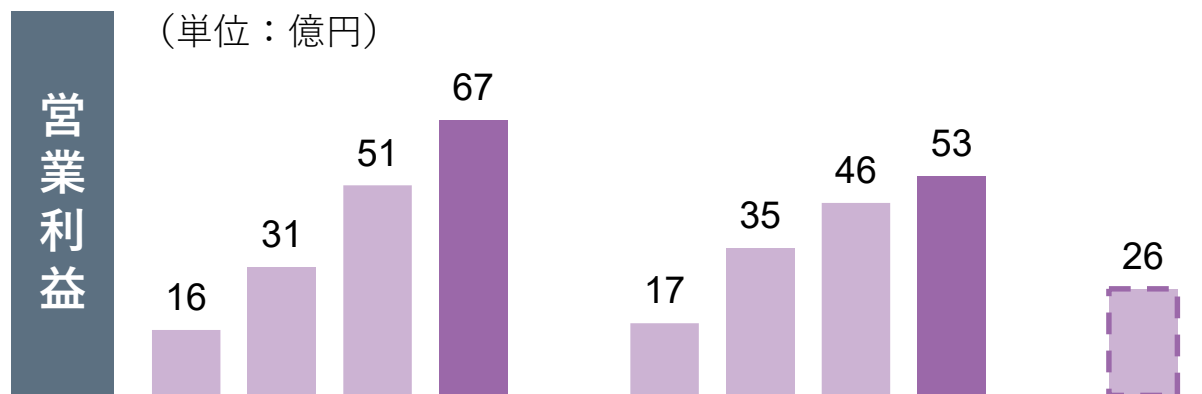
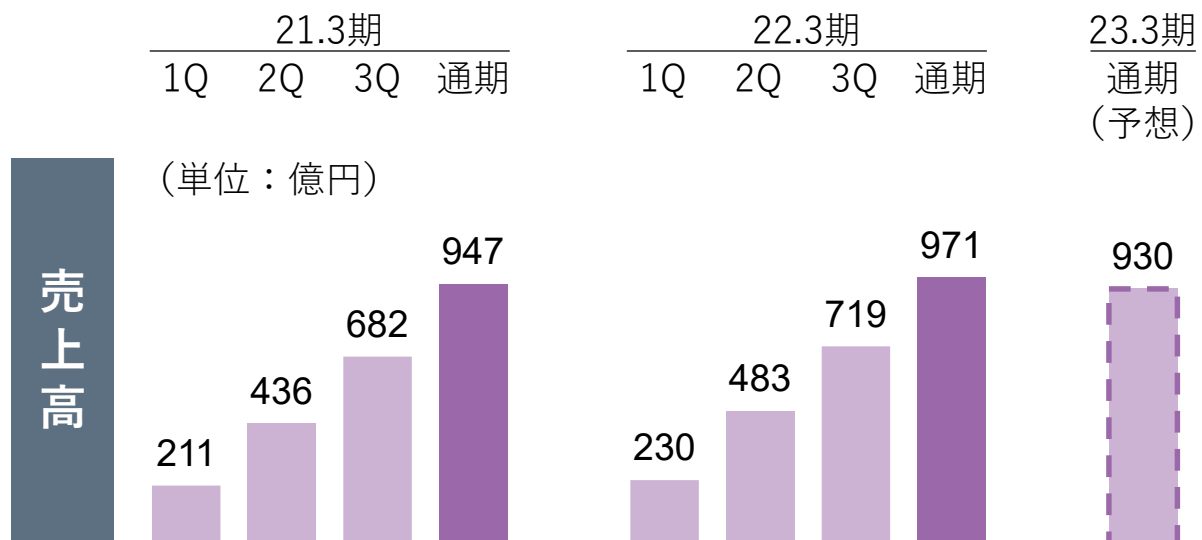
・増収、操業度の増加、為替の円安などによる改善を見込む

### □ 民需関連 生産機数 (単位：機)

	2021.3期	2022.3期
777/777X	35	22
787	77	30
G7500	26	36

### □ 為替感応度 (公表日以降)

1円の円安進行で  
 約0.3億円の営業利益増



## 2022.3期実績 (前期比)

### ■ 売上高

- 林業用機械等の増加
- M&A効果による増収

### ■ 営業利益

- 鋼材価格の高騰等による減益

## 2023.3期業績予想 (前期比)

### ■ 売上高

- 主要部品調達遅れ等に伴う減収を見込む

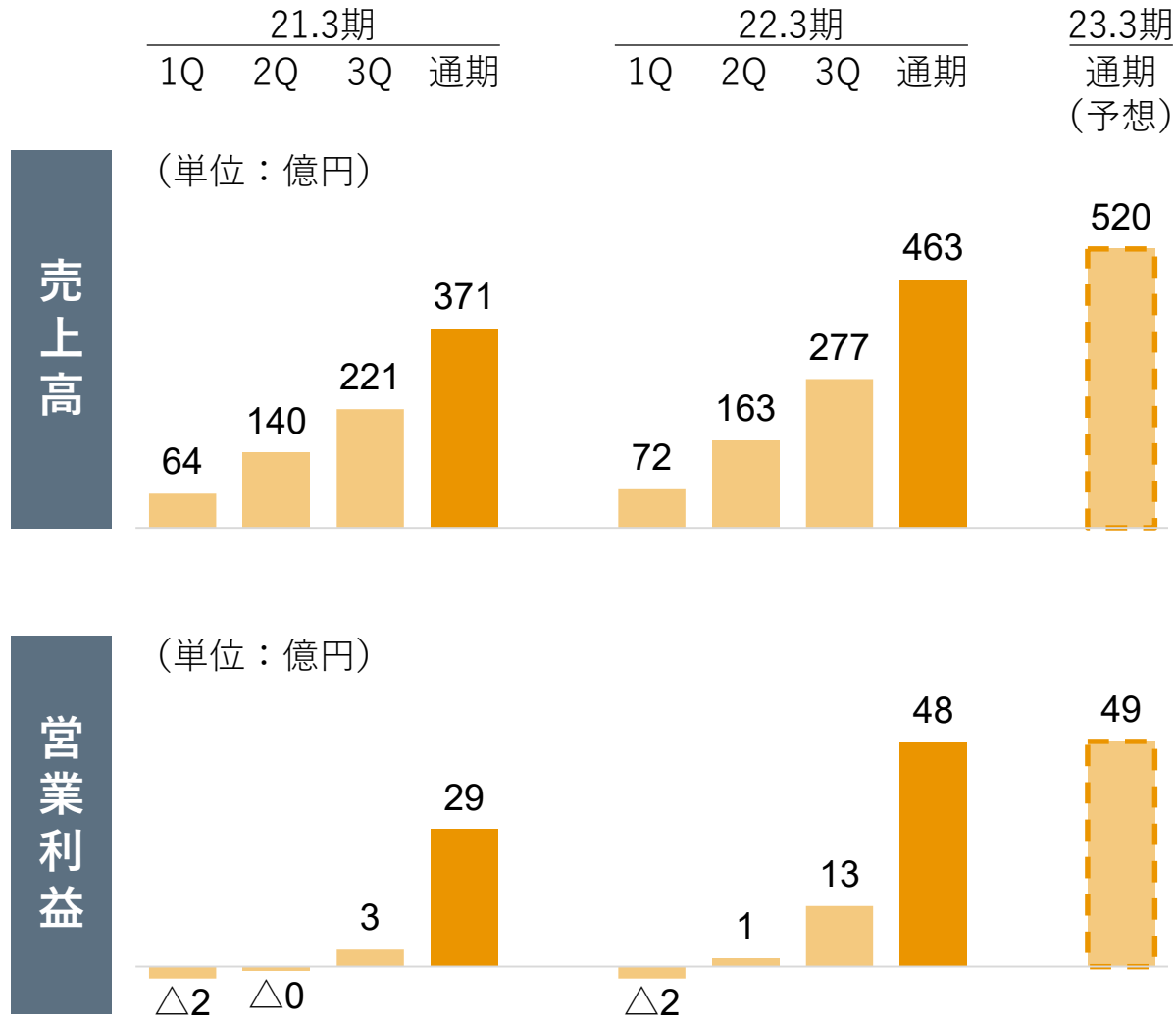
### ■ 営業利益

- 減収および鋼材価格等の高止まりによる減益を見込む

## □ 受注残高の推移

	2021.3期				2022.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注残高 (億円)	630	641	636	604	687	698	745	819
手持月数 (カ月) ※	8.9	8.8	8.4	7.7	8.9	8.7	9.3	10.1

※受注～売上の平均期間、受注残高÷1カ月当たりの売上高で算出



## 2022.3期実績（前期比）

### ■ 売上高

- 流体製品：民需増加、およびM&A効果による増収
- メカトロニクス製品：自動電線処理機、真空製品の増加
- 環境関連事業：プラント案件の増加

### ■ 営業利益

- 増収による増益

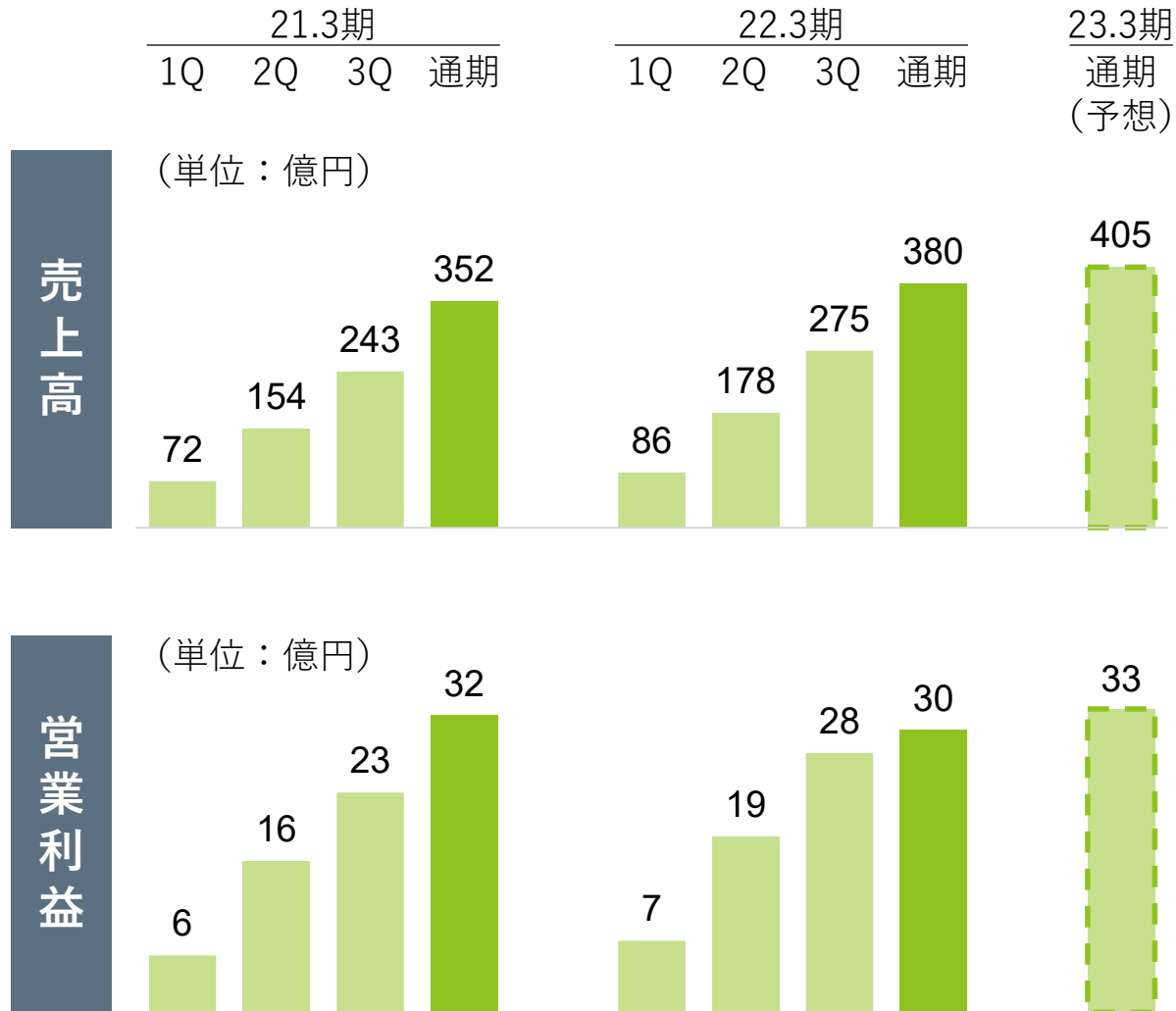
## 2023.3期業績予想（前期比）

### ■ 売上高

- 流体製品：前期に実施したM&A効果による増収を見込む（前期は3QからPLに反映）
- メカトロニクス製品：真空製品（EV用二次電池向け真空乾燥装置）の増加を見込む
- 環境関連事業：プラント案件の増加を見込む

### ■ 営業利益

- 前期並みの水準を見込む



## 2022.3期実績（前期比）

### ■ 売上高

- 機械式駐車設備：新設案件の増加
- 航空旅客搭乗橋：国内で増加

### ■ 営業利益

- （鋼材価格高騰に伴う）工事損失引当金計上による減益

## 2023.3期業績予想（前期比）

### ■ 売上高

- 機械式駐車設備：連結子会社の増収を見込む
- 航空旅客搭乗橋：海外で増加を見込む

### ■ 営業利益

- 増収による増益を見込む

補足資料

商号	新明和工業株式会社
本社	兵庫県宝塚市新明和町1-1
設立	1949年11月5日
資本金	15,981,967,991円
代表者	取締役社長 五十川 龍之 (いそがわ たつゆき)
従業員数	連結 5,783名 単体2,932名 (2022年3月末現在)
連結子会社	31社

# セグメント別 売上高 構成比 (2022.3期)

## パーキングシステム

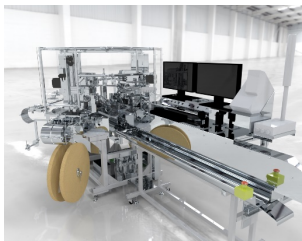


## その他

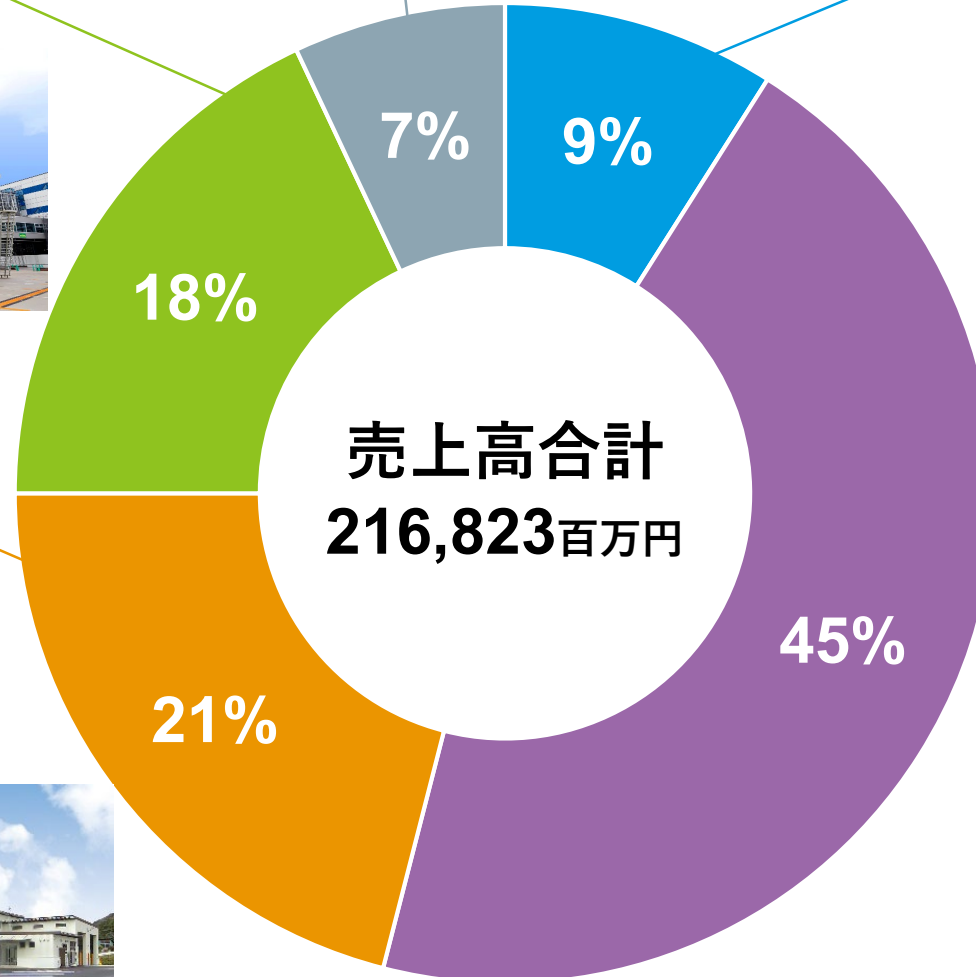
## 航空機



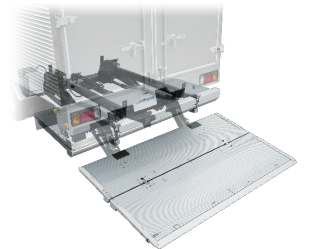
## 産機・環境システム



売上高合計  
216,823百万円



## 特装車



(単位：億円)

	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期
売上高	1,509	1,740	1,931	2,039	2,012	2,073	2,172	2,272	2,092	2,168
営業利益	58	108	136	152	130	105	107	128	104	105
営業利益率 (%)	3.9	6.2	7.1	7.5	6.5	5.1	4.9	5.6	5.0	4.9
経常利益	64	114	143	155	132	107	104	123	111	118
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	74	91	102	89	70	69	73	54	69
海外売上高	304	360	456	481	430	425	428	432	271	310
有利子負債	80	60	41	20	1	0	498	575	545	522
自己資本	889	951	1,058	1,129	1,182	1,248	823	829	879	924
ROE (%)	13.6	8.1	9.1	9.4	7.7	5.8	6.8	8.9	6.4	7.7
ROIC* (%)	3.9	6.8	8.3	9.1	7.7	6.0	5.8	6.5	5.1	5.1

※ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) / 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) の期首期末平均値



# 業績の推移 セグメント別

(単位：百万円)

セグメント	項目	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期	2021.3期	2022.3期
航空機	売上高	26,123	34,067	41,143	47,262	39,028	40,699	43,635	38,950	25,957	19,137
	営業利益	1,360	4,665	5,263	6,546	2,000	1,368	649	1,551	△808	△875
	営業利益率 (%)	5.2	13.7	12.8	13.9	5.1	3.4	1.5	4.0	△3.1	△4.6
特装車	売上高	65,826	77,328	84,775	87,462	89,304	90,317	92,333	94,627	94,777	97,190
	営業利益	3,774	5,009	6,929	6,748	8,348	6,313	6,544	6,802	6,707	5,354
	営業利益率 (%)	5.7	6.5	8.2	7.7	9.3	7.0	7.1	7.2	7.1	5.5
産機・環境システム	売上高	23,287	24,371	27,928	30,155	29,451	30,099	33,810	38,370	37,195	46,348
	営業利益	1,272	2,037	1,878	1,985	2,219	2,468	2,474	2,748	2,989	4,876
	営業利益率 (%)	5.5	8.4	6.7	6.6	7.5	8.2	7.3	7.2	8.0	10.5
パーキングシステム	売上高	27,194	28,301	27,440	29,359	31,145	31,979	33,863	37,805	35,228	38,099
	営業利益	1,474	899	1,330	1,814	1,850	1,780	2,343	3,223	3,228	3,066
	営業利益率 (%)	5.4	3.2	4.8	6.2	5.9	5.6	6.9	8.5	9.2	8.0
その他	売上高	8,486	9,941	11,843	9,677	12,274	14,239	13,654	17,476	16,066	16,047
	営業利益	285	318	439	796	960	1,049	1,037	1,193	1,445	955
	営業利益率 (%)	3.4	3.2	3.7	8.2	7.8	7.4	7.6	6.8	9.0	6.0

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

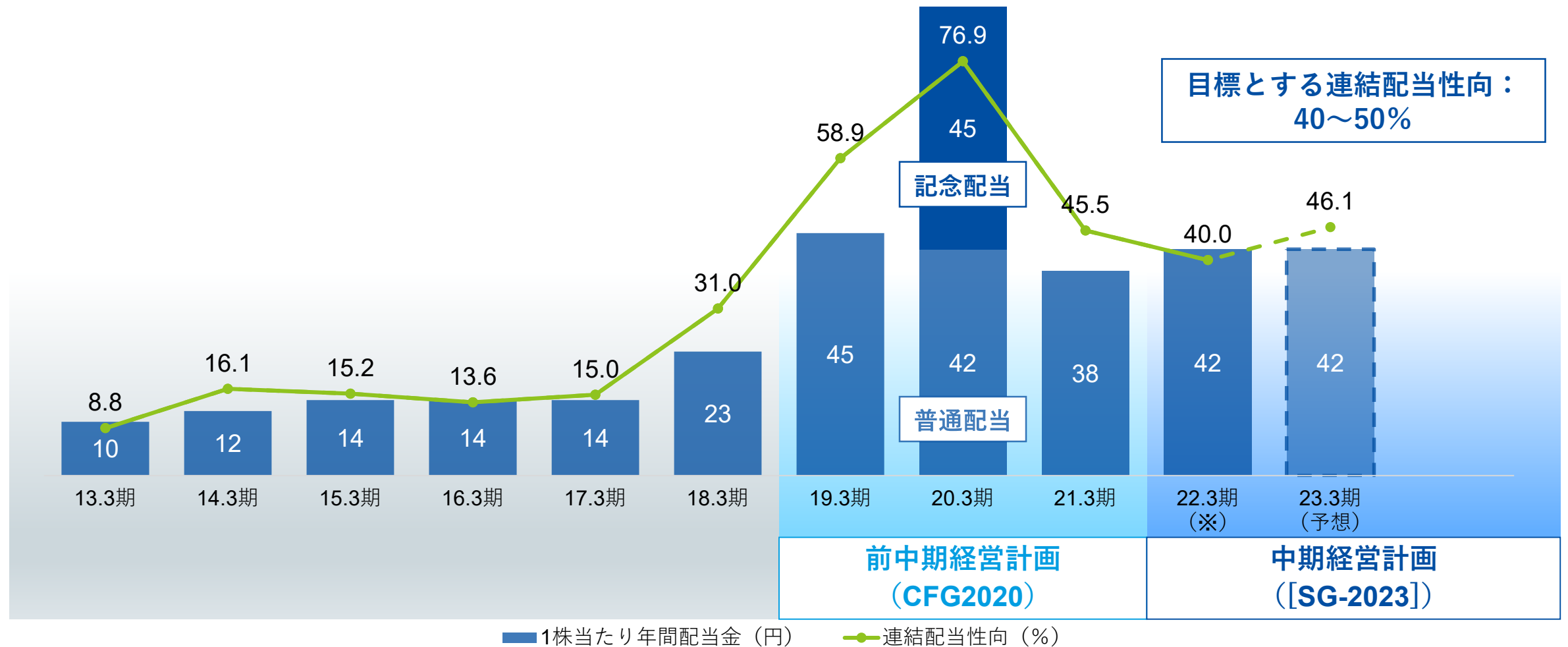
	2021.3期末	2022.3期末	増減
現預金	23,045	26,600	+ 3,555
売上債権	73,747	70,945	△2,802
棚卸資産	43,307	46,925	+ 3,617
有形・無形固定資産	41,730	45,306	+ 3,576
その他資産	30,229	31,429	+ 1,200
<b>資産合計</b>	<b>212,060</b>	<b>221,206</b>	<b>+ 9,146</b>
買入債務	24,383	25,898	+ 1,515
有利子負債	54,539	52,254	△2,284
その他負債	44,299	48,792	+ 4,493
<b>負債合計</b>	<b>123,221</b>	<b>126,945</b>	<b>+ 3,724</b>
自己資本	87,945	92,465	+ 4,519
その他純資産	893	1,795	+ 902
<b>純資産合計</b>	<b>88,838</b>	<b>94,261</b>	<b>+ 5,422</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>212,060</b>	<b>221,206</b>	<b>+ 9,146</b>
自己資本比率	41.5%	41.8%	

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2021.3期	2022.3期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	18,120	15,998	△2,121
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,133	△7,221	+ 1,911
フリー・ キャッシュ・フロー	8,986	8,777	△209
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,972	△5,203	+ 768

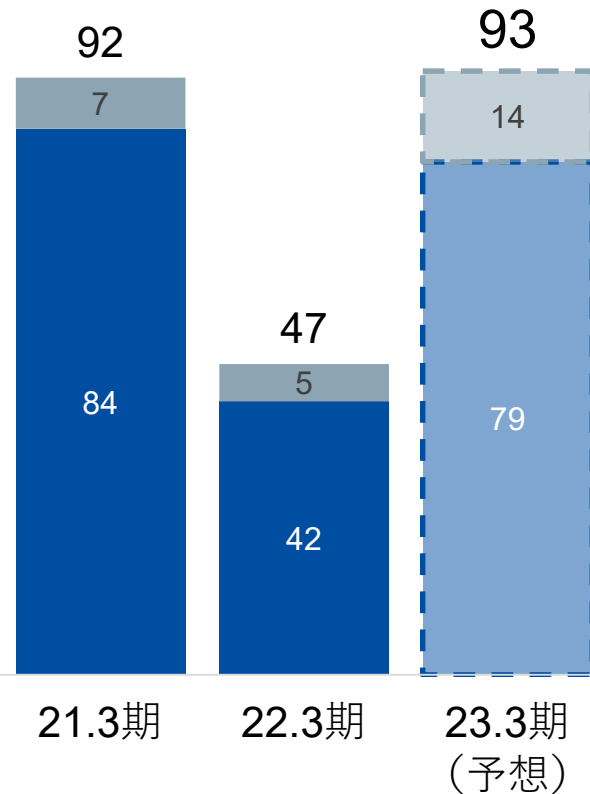
# 1株当たり配当金と連結配当性向の推移



※ 定時株主総会での決議をもって正式決定となります。

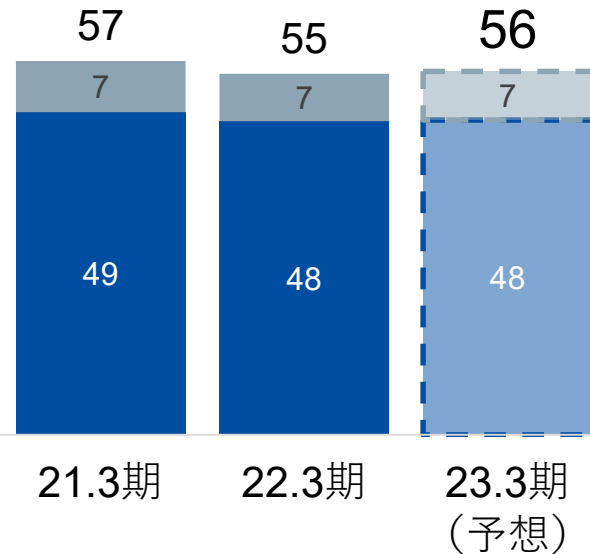
■ **設備投資額** ※ 上段：無形固定資産  
下段：有形固定資産

(単位：億円)



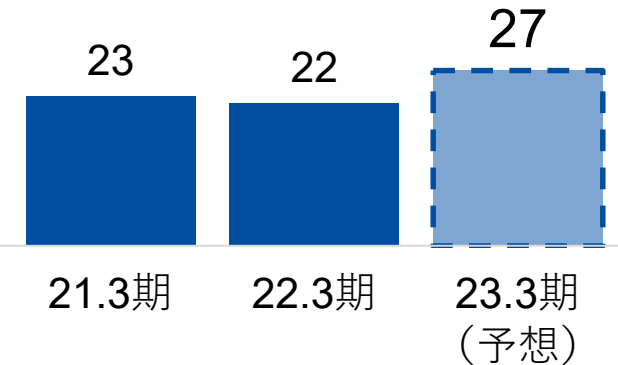
■ **減価償却費** ※ 上段：無形固定資産  
下段：有形固定資産

(単位：億円)



■ **研究開発費**

(単位：億円)



本資料は、新明和工業株式会社（以下「当社」といいます。）またはそのグループ会社（以下「当社グループ」といいます。）に関連する見直し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報（以下「将来情報」といいます。）を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見直し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社